

DIRECTFORCEの季刊情報紙

DF NOW

2008年6月発行 NO.8



DFホームページ(DFHP)と記事連動
http://www.directforce.org

最新の情報は、きめ細かく更新されている
DFHPをご覧ください。

中間法人 ディレクトフォース 〒100-0003 千代田区一ツ橋1-1-1パレスサイドビル9F 電話03-5288-7560 発行人・田中健一 印刷・(株)ケーブプリント

アカデミー事業部

DF社会貢献活動の原点 着実に広がる講義・講演活動

アカデミー事業部副事業部長・服部 毅

DFの会員による社会貢献活動の原点とも言える大学、市民講座、企業での講義・講演は着実に広がり、昨年の実績は270コマで70名の会員の方にご協力をいただきました。

昨年来、新規に講師をお願いできる方を探した結果、08年度には新たに8名の方にご出講いただくこととなりました。また、出講先についても企業の研修や代理店総会での講演を会員の紹介で増やすことができ、08年度見込みは、大学講座240、市民大学や企業講演60、合計300コマとなります。

DF会員講師による講座『経営者が語る現代企業論』をご担当の獨協大学



中村洋明氏の拓殖大学での講義風景

会員になった効用の一つに、人柄、専門性、趣味など多種・多才な新しい友人との出会いがある。

とりわけ懇親会や同好会の集りで杯を交わしながらの談論風発はインタラクティブ効果など難しいことを言わずとも、いつしか侃侃諤諤の議論に発展、お互いを知り、新しいことを吸収しつつストレス解消にもなり、ボケ防止の特効薬でもある。

今や15、16番ホールにさしかかっている我が人生だが、こうして新たな交友に恵まれるのは自らをリフレッシュする上でまことに貴重である。無論、交友だけ求めてDFに在るわけではない。

きゆうしふ



大学講師はDNA

鶴岡 忠成



自身は会員活動の至らなさに世帯に伝わる思いはあるが、それでも初期の頃は商社論議に挑戦したり、ベンチャー部会などで真剣な議論に加わったりもした。

とりわけ大学での講義は、自らの経験と見方を次世代いや次々世代に伝えたいという講師をやった者なら誰しもが抱く一熱意に加えて個人的にも大きな意味があった。

感無量のものがあつた。さて、会員が600人を越え、事業活動が軌道に乗りつつあるDFだが、団塊の世代が定年を迎え、会員増が期待されることや、法人制度改革により12月には中間法人から一般社団法人へと衣替えるなどの時代変化に、ど

森本さんから「英語でスピーチを頼まれていたのですが、引き受けてくれますか?」と電話で聞かれ「良いですよ」と気軽に答え、「それで場所は?」と尋ねたら、「イスタンブールです」と言うことから今回の話はスタートしました。

ポイントや資料については新日鉄の三村会長や経団連で環境問題を担当している関沢副社長などに大変お世話になりました。

特に「環境問題への取り組み」については、私にとっても極めて知的好奇心を刺激されるテーマで良い勉強になりました。

また、一般社団法人は中間法人と実質的に変わりが無いにしても、移行に伴い組織規模に相応しい機関設計、内部規定整備、情報公開などの検討が必要とされるのではないかと。

いずれにせよ、DFの社会的ニーズは高く、執行部と会員間の強い相互信頼と協力がますます必要とされる時である。

講演が終わって帰り仕度をしていると何人かの女子学生が、つしよに記念写真を撮らせて下さいと来たのには、生まれて初めての経験であり、感激しました。

主催元のJATCAFAの方々にも大変喜んで戴き、自分としても達成感や満足感の大きな講演でした。

学生に人気 DF会員講師による講座

獨協大学教授 上坂 卓郎氏



ディレクトフォース様には04年よりお世話になっております。昨年度まで、「ものづくりの現場から」という響きのよいタイトルがついておりましたが、大学の過半を占める女子学生への浸透度を上げるため、本年度より「経営者が語る現代企業論」という名称に変更して更に人気の講座となっております。

本講座の狙いは、企業が社会で果たしている役割とはなにか、企業で働くことを通じて自己実現をしていくことを理解してもらおう、さらに専門教育への動機付けができれば良いと欲張ったものでした。しかし開講初年度には「企業の要職についておられた方による経営に関する講義が、知識のほとんどない1、2年の大学生に理解できるのだろうか」と危惧しましたが、

蓋を開けてみるとそれは全くの杞憂に終わりました。講師陣の簡潔にしてレベルを落とさず内容と情熱をもった語り口により、学生の好奇心を一気に掴んだ感があります。学生から見ると、講師の先生はおじいさんの年回りの方ですが、「ダンディーな紳士で先生とは違い雰囲気がある」とまことに正直な感想を述べています。

大学の講義とはリアリティーが100%違うことを学生も理解しているようで、「こうした講座をもっと増やしてほしい」という要望が毎回出ております。教え方については、どの方も堂々とされており、専任の教師である私の立つ瀬がないほどの名調子で、わが国では経営者は本来的に教師の資質が必須なのではと思わせるほど感心してお聞きしています。

獨協大学は明治に開校した獨逸学協会学校を母体とした語学系文系大学で教員になる学生も結構おりますが、卒業生の大半は企業社会に巣立っております。こうした学生に、合田隆年さんが授業の最後に「会社は面白いところですよ。勇気をもって飛び込んでください」と呼びかけてくださいます。

新しい時代は、新しい世代が形成していくものだと思います。彼らが勇気を持って新しいことに挑戦していきけるようこの講座は大変役立っていると感じます。

イスタンブールで「日本トルコ中央アジア友好協会」の特別講演

佐藤 眞樹



講演はイスタンブールから2時間程のザコリアをほうふつとさせるリゾートホテルで行われました。学生が理解してくるのか心配でしたが、知識欲に燃える学生達は非常に熱心に話を聞いてくれ、質問も案に相違して多く、時間内に収まらず打ち切った程でした。

講演が終わって帰り仕度をしていると何人かの女子学生が、つしよに記念写真を撮らせて下さいと来たのには、生まれて初めての経験であり、感激しました。

主催元のJATCAFAの方々にも大変喜んで戴き、自分としても達成感や満足感の大きな講演でした。

2008年7月~9月

DF Events Schedule

積極参加で交友を深めよう

7月30日(水) 15:00~ 勉強会 学士会館
8月21日(木) 15:00~ 勉強会 学士会館
9月11日(木) 15:00~ 総会 学士会館

企業名	業務内容
クローバー・ネットワーク・コム	電話番号履歴による信用情報サービス
リブレライフ	米ぬかを素材にした健康食品
ヒューモニー	インターネットを活用した慶弔電報
ロゼッタ	専門技術文書向け自動翻訳サービス
シーティーアイ情報センター	地方でのコールセンター業務
JES有限会社	使用感を変えずに水量を10~60%カット
アクセント	ウェブサイトへのアクセスデータの分析
CSS	特殊反射板を活用した照明の節電
レスキューナウ	危機管理情報の配信・企業存続のサポート
大成プラス	金属と樹脂の接合技術
ギア・ヌーブ	通信機能付デジタルカメラ
シーデービー・ジャパン	人材派遣
ヒューチャー・プラネット	中国でのTV用アニメ制作スポンサー依頼

会員皆様の一層のご支援、ご協力をお願いいたします。

DFが支援しているベンチャー企業の実態を会員に知ってもらい、より強く、深く、支援活動に参加していただくことが目的でしたが、出席会員からは理解が深まり良かったと好評でした。

今後ベンチャー事業部の発展のためには、このような交流会を随時開催し、情報を提供していくことが大切なことと思われまます。

ベンチャー事業部長 児玉亨

支援企業との交流会を開催

ベンチャー事業部



勉強会レポート

● 詳しい内容はホームページをご覧ください ●



現代中国の実像

3月
— その光と陰

講師・中居良文氏

講師は政治学の視点から長年中国を研究し、派遣留学の体験のある学習院大学法学部教授中居良文氏。最近の訪米機会を得られた米国の識者が中国をどのように見ているかの話題と自らの中国滞在の経験を踏まえ、中国の光と陰にスポットを当てたお話をしていた。

アメリカは情報の価値を大切にしている。中国に関しては、文明レベル、社会レベル、政治レベルのマクロ的な情報と二つの地方の村を定点観測する



実体験に基づく話に具体性が高い

ようなミクロ的な情報を収集し、うまくミックスしている。

中国を理解する上でこのような情報も大切だが、自分の中国訪問経験から、現地を実際に見ることも必要だということを実感している。

1981年に北京大学に留学し、1991年に香港に行き、2001年に山東省、山西省、河北省といった地方の調査研究に携わる3度の現地体験をした。その体験で得たさまざまな経験や事実を具体的に示しながら、単純に「中国とは」と言い切れない、矛盾に満ちた実像を示した。

最近の国際金融情勢と円ドルの行方

講師・榎原英資氏

講師は「ミスター円」でおなじみの大蔵省出身、現早稲田大学教授、経済学博士の榎原英資氏。

内容は、氏の見識や活躍の幅の広さを反映して金融情勢や円・ドルの問題にとどまらず、日本の政治、経済から農業や教育問題、中央官庁と地方分権のあり方にいたる幅広いものとなった。

新人監査役

菅原 邦宏

会員の菅原さんがサーチ事業部の紹介で、ある会社の監査役に就任されました。新しい職務に就かれた氏の思いを述べてもらいました。

06年6月からジャスタック上場電子機器メーカーで社外監査役を務めています。70年代半ばは創設のこの会社は、創業社長の卓越したビジネス感覚とリーダーで、08年3月期には約800億円の売り上げを達成しました。ただし、今世紀に入って急成長した会社だけに、仕事のやり方や社員の意識をはじめ、経営全般に依然中小企業的な面も



多く、更なる成長に向けての改善・整備が大きな課題となっております。

J・SOX対応で取り組んだ「内部統制システム整備プロジェクト」でも、運営が軌道に乗るまでにはいくつかの関門を経験しました。私もこのプロジェクトに参画しましたが、今後の監査役の仕事が、内部統制の運用状況の監査が中心になっていくという前提で、会社に適したシステムをまず整備し、着実な運用が図れるよう支援と監視を続けて行こうと考えています。

社外監査役の立場上、情報入手等難しい面もありますが、客観的な公正な監査を目指して、研鑽を積んでいくつもりです。

環境問題研究会 アサヒビール茨城工場見学会

アサヒビールの環境経営を学ぶ



アサヒビールの工場の前で

環境問題研究会は4月17日茨城県守谷市にあるアサヒビール茨城工場の見学を実施。32名の会員が参加。ビールの製造工程を見学したあと、同社元執行役員で環境問題を担当してこられた名倉伸郎氏から「アサヒビールの環境経営」について話を伺った。

アサヒビールグループでは長期ビジョンで「食と健康」を事業ドメインに掲げている。そのCSR方針は「持続可能な未来社会実現のために環境と社会に配慮した事業活動を通じて社会的責任を果たす」とし、CSR活動における優先取り組み項目の一つとして環境保全活動をあげている。

アサヒビールの環境問題への取り組みの原点を知るとともに、ダイレクタフォース環境問題研究会の今後の活動内容を考える上で示唆に富んだ見学会・勉強会であった。



政権交代の話まで幅広い講演内容

的に変えること、都道府県は廃止して国と基礎的自治体の2層構造にして、国と地方の権限を明確にすること、そして国がやることと民間がやることをはっきり分け、民間がやることを増やすことである。

取材ノートから

裁判員制度・チベット問題など

講師・江川紹子氏

ジャーナリストの江川紹子氏はオウ



氏の真摯な取材姿勢に感動

ム事件をはじめ数多くの事件取材してきた。そのプロセスで氏がなにを考へ、なにを基軸に取材活動をしたかを率直に話していただいた。

話の内容は、裁判員制度、チベット問題、中国の地震に対する支援活動、オウム事件における別件逮捕の問題、イラクで日本人が拉致された事件と多岐にわり、氏の取材活動の幅の広さを示していた。

その中で強調されたのが、取材に当たって、事件の本質を知り、どう対応すべきかを考えるときに、常に人権を尊重するという視点をぶらさないようにしていたということである。

そして、更に氏は自分が経験のないことに対して想像力を働かすことが必要であると述べた。識者の発言や世の風潮に安易に流されることなく、自らの想像力を働かせ、自らの判断をすることが大切だというのである。

同好会ニュース

釣り同好会

大自然の下で釣りを楽しみませんか

昨春秋、事務局から「釣り同好会」発足の提案を受けましたが、冬の間は寒いので活動を休止し、4月に第1回の釣りと会として東京湾観音崎沖で、「鯉釣り」を開催しました。参加者は5名、船中の釣果は鯉7匹、鯖6匹でした。

今後3カ月に2回程度の頻度で開催する予定です。



最近の半日釣りもOK、道具もすべて貸してくれます。最寄りの駅まで送迎の車を出してくれる船宿を出来るだ

コーラス同好会

メンタルハーモニーを大切に

5月19日 田中代表はじめ11名が、麻布十番にある吉田正治氏(会員)のスタジオでコーラス同好会の初練習を行い活動のスタートを切りました。

メンバーの大半は、コーラスは小学校以来であるが、次の三点を目標にしています。

- 1. 気楽な雰囲気
- 2. 腹式呼吸による自然な発声法を身につけ、健康増進と脳の活性化を
- 3. 相互理解を深め交友の輪を拡げる



初練習ではまず軽い体操で体をほぐし、発声練習でノドを整えてから、ドレミの歌、故郷、夏の思い出等、よく知られた名曲を歌って美しいハーモニーを楽しみました。

美術同好会

新緑の上高地でスケッチ

5月27日から3日間にわたり恒例のスケッチ旅行会を開催。今回の訪問地は、絵画の人気スポットの一つである新緑輝く上高地。9名の会員が参加。最高の天気恵まれ、穂高、焼岳、雷澤岳などの雄大な名山と流れの綺麗な雪解け水の梓川を前に創作意欲は高揚し、思い思いに絵筆を手にしました。

夕食のあとはいつもの通り、安水画伯の構図や色付けなどの懇切な個人指導でたっぷりスケッチ談義。絵心が深化し会員は大感激。酒談も盛り上がり、中身の濃い三日間でした。

11月に初のグループ展が計画されており、今回はそのための作品作りの目的もあり熱のこもったスケッチ会になりました。



旅行幹事 高井俊成

新入会員紹介

①生年(西暦) ②経歴 ③学歴

入会者についての詳細はホームページを参照してください。

- 東 誠司(1933年)旭化成(3)東京大・法
- 平井 俊樹(1947年)厚生省(3)東京大・薬
- 高村 善雄(1948年)三菱(3)慶応大・経
- 山田 隆久(1947年)三菱商事(3)名古屋大・工
- 堀越 武久(1941年)荏原製作所(3)慶応大・工
- 寺島 邦夫(1940年)日本ユニシス(3)早稲田大・第一政経
- 河田 義宏(1941年)富士ゼロックス(3)慶応大・経
- 水野 尚子(1956年)オートイー(3)京大・経
- 小西 鋭一(1942年)宇都宮産科(3)神戸大・経
- 矢野 保(1948年)東レ(3)新潟大・法
- 松島 健夫(1934年)伊藤忠(3)京大・法
- 鈴木 均(1949年)ジョイント・コーポレーション(3)専修大・法
- 川崎 史顕(1943年)ニッセイ(3)早稲田大・第一
- 同和損害保険(3)早稲田大・第一
- 今村 孝治(1938年)三菱電機・タイガー総業(3)鹿児島商工
- 佐久間 博(1945年)住友銀行(3)京大・法
- 安田 隆一(1945年)三菱商事(3)京大・薬
- 倉地 正(1936年)三菱東京銀行・兼松(3)京大・教養
- 横川 武史(1942年)日本板硝子(3)京大・工
- 伊藤 健治(1942年)トヨタ自動車(3)京大・工
- 黒岡 誠一(1947年)トミー(3)東京水産大・水産
- 四宮 薫(1947年)日亜化学(3)横浜国大・経
- 中田 邦臣(1942年)三菱化学(3)名古屋大・工
- 宮原 保彦(1947年)東レ・デュポン(3)早稲田大・政経
- 鶴岡 昭男(1944年)花王(3)明治大・商
- 佐藤 安雄(1947年)旭硝子(3)信州大・工
- 三森 輝夫(1943年)東洋エン지니어リング(3)京大・工
- 間 佐五郎(1943年)富士通(3)東北大・工
- 山口 竹彦(1947年)日本銀行(3)京大・法

編集後記

本号から活字を大きくし、紙質を上げました。読みやすくなる紙面をめざします。ホームページと合わせ会員皆さまのご理解、ご支援をよろしくお願い致します。(常信)

- 廣田 恵永(1945年)伊藤忠(3)香川大・経
- 手島 宏明(1947年)富士銀行(3)東北大・経
- 坂田 徳雄(1948年)東海銀行(3)京大・法
- 中條 俊美(1945年)東京都中小企業振興公社(3)京大・文
- 久保田 修三(1942年)富士銀行(3)京大・法
- 山田 朝昭(1940年)三井物産(3)早稲田大第一理工・青山学院大学院修士
- 安井 将(1944年)同和火災海上(3)甲南大・経
- 木戸 雄二(1941年)日本板硝子(3)東京工大・無機材料工学
- 坂田 徳雄(1948年)東海銀行(3)京大・法
- 中條 俊美(1945年)東京都中小企業振興公社(3)京大・文
- 久保田 修三(1942年)富士銀行(3)京大・法
- 廣田 恵永(1945年)伊藤忠(3)香川大・経
- 手島 宏明(1947年)富士銀行(3)東北大・経